

「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」と平成30年度伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査計画、平成31年度調査計画（案）の内容比較表

目的（実施範囲）		実施項目		平成30年度調査計画				平成31年度調査計画（案）				備考		
指針補足参考資料（平常時）		測定頻度	測定対象	実施主体	試料数・地点数	測定頻度	測定対象	試料数・地点数	測定頻度	測定対象	備考			
① 周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価（10km圏内）	空間放射線量率	連続	γ核種	県	MS (1), MP (7)	連続	γ核種	MS (1), MP (7)	連続	γ核種	H30年度に検出器更新、 <b>一部測定局移設</b>			
	大気中放射線物質濃度	大気浮遊じん	1回/月 (連続採取)	γ核種	県	MS (1), MP (4)	1回/四半期 (定期採取)	γ核種, Pu-239+240	MS (1), MP (4)	1回/四半期 (定期採取)	γ核種, Pu-239+240	連続採取した試料の測定結果による評価等は機器整備後実施		
					四電	大気浮遊じん(1)	1回/四半期 (連続採取)	γ核種	大気浮遊じん(1)	1回/四半期 (連続採取)	γ核種			
	環境試料中放射線物質濃度	葉菜	1回/年又は 1回/四半期	γ核種、 Sr-90	県	葉菜(3)	1回/年	γ核種 (一部 Sr-90)	葉菜(3)	1回/年	γ核種 (一部 Sr-90)			
					牛乳	未調査		未調査		5km圏内に乳用牛の飼養実績なし				
					魚	県	魚類(1)	1回/四半期	γ核種 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)	魚類(1)	1回/四半期	γ核種 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)		
					無脊椎動物	県	無脊椎動物(1)	γ核種 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)	無脊椎動物(1)	γ核種 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)				
					海藻類	四電	無脊椎動物(1)	γ核種	無脊椎動物(1)	γ核種				
					陸水	四電	海藻類(1)	γ核種 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)	海藻類(1)	γ核種 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)	指標生物（ホンダワラ）は目的④のみ			
	陸水	四電	海藻類(2)	γ核種	海藻類(2)	γ核種								
陸水	県	陸水(2)	γ核種、H-3、 〔1年1回〕Sr-90、 Pu-238, Pu-239+240)	陸水(3)	1回/年	γ核種, Sr-90, H-3	従前の測定地点のうち1地点廃止 測定頻度は、指針補足参考資料（平常時）に準ずる（目的④としても活用）							
② 環境における放射性物質の蓄積状況の把握（10km圏内）	環境試料中放射線物質濃度	土壌	1回/年	γ核種	県	土壌(3)	1回/四半期	γ核種、H-3、 〔1年1回〕Sr-90、 Pu-238, Pu-239+240)	土壌(5)	1回/年	γ核種, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240	測定頻度は、指針補足参考資料（平常時）に準ずる（目的④としても活用）		
					四電	土壌(3)	1回/半期	γ核種	土壌(3)	1回/半期	γ核種			
					県	海底土(2)	1回/四半期	γ核種, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240	海底土(2)	1回/年	γ核種, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240			
					四電	海底土(3)	1回/半期	γ核種	海底土(3)	1回/半期	γ核種			
③ 原発からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価（5km圏内）	空間放射線量率	連続	γ核種	県	MS (1), MP (7)	連続	γ核種	MS (1), MP (7)	連続	γ核種	H30年度に検出器更新、 <b>一部測定局移設</b>			
	大気中放射線物質濃度	大気浮遊じん	連続	原発起因の人工核種	県	MS (1), MP (4)	連続	α核種、β核種	MS (1), MP (4)	連続	α核種、β核種	影響評価はMPへの機器整備後実施		
					四電	ダストモニタ(1)	連続	α核種、β核種	ダストモニタ(1)	連続	α核種、β核種			
	排水中放射線物質濃度	排水	連続	γ核種	四電				放水口モニタ(2)	連続	γ核種			
④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え（30km圏内）	空間放射線量率	連続	γ核種	県	MS (1), MP (19)	連続	γ核種	MS (1), MP (19)	連続	γ核種	5km圏内のMSとMPについて、 H30年度に検出器更新、 <b>一部測定局移設</b>			
	環境試料中放射線物質濃度	土壌	1回/5年 (Puは1回)	γ核種, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240	県		目的②の土壌試料と同じ		土壌(28)	1回/2021年度末までに	γ核種, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240	2022年度以降は、1回/5年		
					四電		目的②の土壌試料と同じ			目的②の土壌試料と同じ				
					陸水	γ核種, Sr-90, H-3	県		目的①の陸水試料と同じ		陸水(35)	1回/2021年度末までに	γ核種, Sr-90, H-3	2022年度以降は、1回/5年
	海水	H-3	1回/5年	H-3	県	海水(1)	1回/四半期	γ核種, H-3, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240	海水(1)	1回/四半期	γ核種, H-3, Sr-90, Pu-238, Pu-239+240	技術習得の観点から年2回の実施 採取地点の変更		
					四電	海水(2)	1回/四半期	γ核種	海水(2)	1回/四半期	γ核種, H-3	採取地点の変更		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤文字は調査開始未定の項目</li> <li>黄色マーカーは調査計画見直し箇所</li> <li>γ核種：γ線放出核種（α核種、β核種も同様）</li> <li>MS：モニタリングステーション</li> <li>MP：モニタリングポスト</li> <li>球形NaI：NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ（県はNaI(Tl)シンチレーションサーベイメータも実施）</li> <li>モカ：モニタリングカー（一般は一般車両のこと）</li> <li>定点：定点測定</li> <li>走行：走行測定</li> <li>電子線量計：通信機能付き電子線量計</li> <li>これまで対照地点としていた松山市の地点は廃止</li> </ul>	※ 右欄は、指針補足参考資料（平常時）に指定のない調査内容を記載	空間線量	県	球形NaI(9)	1回/四半期	γ核種	球形NaI(9)	1回/四半期	γ核種	目的④として継続			
			環境試料	みかん(10)	1回/年	γ核種	モカ(定点)(6)	1回/四半期	モカ(定点)(6)	1回/四半期	モカ(走行)(5)	1回/四半期	モカ(走行)(5)	一般車両の走行測定をモカに切り替え 目的④として継続
							可搬型MP(10)	1回/半期	可搬型MP(10)	1回/半期				
積算線量(44)							1回/四半期	積算線量(16)	1回/四半期					
電子線量計(58)							連続	電子線量計(58)	連続					
葉菜(1)								葉菜(1)						
生しいたけ(1)								生しいたけ(1)						
精米(1)								精米(1)						
製茶(1)								製茶(1)						
牛乳(原乳)(1)								牛乳(原乳)(1)						
淡水生物(魚)(1)								淡水生物(魚)(1)						
植物(杉葉)(2)				植物(杉葉)(2)										
降下物、降水(1)			1回/月	γ核種, H-3 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)	降下物、降水(1)	1回/月	γ核種, H-3 (一部 Sr-90, Pu-238, Pu-239+240)	放射線物質の放出状況の確認に有効であるため、目的④として継続						
魚類(2)			1回/年	γ核種	魚類(2)	1回/年	γ核種	目的④として継続						
無脊椎動物(1)					無脊椎動物(1)									
空間線量	四電	MP(6)	連続	γ核種	MP(6)	連続	γ核種	参考として継続						
環境試料	みかん(2)	2回/年	γ核種	球形NaI(4)	1回/四半期	球形NaI(4)	1回/四半期	積算線量(25)	2回/年	γ核種	目的④として継続			
				植物(杉葉)(1)	1回/四半期	植物(杉葉)(1)	1回/四半期							